



短歌

三十一文字に気持ちをのせてみよう



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

短歌の入り口	3～4
短歌の歴史と歌人	5～7
短歌を味わう	8～10
短歌をつくる	11～12
短歌を広げる	13～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

短歌ってなに？

短歌ということばの意味を考えてみましょう。

短歌とは、五・七・五・七・七の三十一音という形で表す、日本に古くから伝わる詩のことです。

俳句より少し長く、気持ちや情景を、より豊かに表すことができます。



短歌の特徴

五・七・五・七・七の三十一音

季語は決まりではない

気持ちを直接表せる

千年以上の歴史

俳句と似ていますが、決まりごとや歴史には、それぞれちがいがあります。

ポイント

- 短歌は、和歌とよばれる詩の形の1つで、今も多くの人によって作られています。
- むずかしく考えず、感じたことを三十一音にのせてみることから始まります。

やってみよう

1. 「短歌」と聞いて思いうかぶことを1つ書いてみよう。

2. 知っている短歌や和歌があれば、1つ書いてみよう。 _____

ワンポイント 短歌は声に出して読むと、五・七・五・七・七のリズムがより感じられます。

書いて覚えよう

短歌の歴史・万葉集

短歌の歴史と、日本最古の歌集を知りましょう。

短歌は、千年以上前から作られてきたといわれる、とても長い歴史を持つ詩の形です。

万葉集は、現存する日本最古の歌集で、天皇から名も知られていない人まで、さまざまな立場の人の歌が収められています。



ポイント

- 万葉集には、四千首以上の歌が収められているといわれています。
- 当時の人々の暮らしや自然への思いを、今に伝える貴重な資料でもあります。

やってみよう

1. 千年以上前の人の歌が今も読めることについて、感じたことを書こう。

書いて覚えよう

和歌と短歌・有名な歌人

和歌と短歌のちがいと、代表的な歌人を知りましょう。

和歌と短歌

和歌

五・七・五・七・七の短歌を中心とした、日本の詩全体を指すことば

短歌

和歌の中で、五・七・五・七・七の形のものを指すことば

有名な歌人

紀貫之

古今和歌集の編さんに関わったといわれる歌人

与謝野晶子

近代を代表する歌人の1人

ポイント

- 「和歌」は広い意味を持つことば、「短歌」はその中の1つの形と覚えておきましょう。
- 時代によって、活躍した歌人や、短歌の雰囲気も少しずつ変わってきました。

やってみよう

- 気になる歌人の名前を1つ書いて、調べてみよう。

書いて覚えよう

明治時代以降の短歌の広がりを知りましょう。

以来、多くの歌人が、自分らしいことばで短歌を作るようになりました。

- 近代の短歌には、恋愛や日々の暮らしなど、身近な気持ちをよんだものも多くあります。
- 昔ながらの形を守りながらも、表現の幅は時代とともに広がってきました。

1. 近代の歌人の短歌を1つ調べてみよう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 短歌 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

- 現代でも、多くの人が短歌を作り、雑誌やインターネットで発表しています。
- スマートフォンの操作や、今の暮らしの中の出来事をよんだ短歌もあります。
- 口語（ふだんの話し言葉）を使った、親しみやすい短歌も増えています。

1. 現代の短歌を1つさがして、感じたことを書こう。

ワンポイント 短歌は、昔の人だけのものではなく、今のあなたの気持ちを表す形にもなります。

短歌の読み方

短歌を、より深く読む方法を知りましょう。

- | | | |
|---|---------------|------------|
| ① | 五・七・五・七・七に区切る | リズムを感じる |
| ② | だれの気持ちの歌か考える | 作者の思いを想像する |
| ③ | 情景を思いうかべる | 見える景色を想像する |
| ④ | 何度も声に出して読む | 余韻を味わう |

ポイント

- 1つずつ順番に見ていくと、短歌の意味がつかみやすくなります。
- 同じ短歌でも、読むたびに新しい発見があります。

やってみよう

1. 好きな短歌を1つえらび、①～④の順で読み解いてみよう。

書いて覚えよう

景色や物にたとえて、気持ちを伝える

聞こえた音や、感じたにおいを加える

1. 今の気持ちを、ひとことで書いてみよう。

短歌と俳句のちがい

短歌と俳句の似ているところ、ちがうところを整理しましょう。

短歌

五・七・五・七・七

三十一音

俳句より音が多い

季語は決まりではない

気持ちを直接表しやすい

俳句

五・七・五

十七音

短歌より音が少ない

季語が基本

情景を中心に表す

ポイント

- どちらも日本に古くから伝わる、短い言葉で表す詩の形です。
- 音の長さやきまりのちがいによって、表しやすいことがらも少しちがいます。

やってみよう

1. 同じ出来事を、短歌と俳句の両方で表すとしたら、どうちがうと思いますか。

書いて覚えよう

- 短歌は、声に出して読むことで、リズムや気持ちがより伝わりやすくなります。
- 感想を聞くと、自分では気づかなかった短歌のよさに気づくことがあります。

1. 作った短歌を、家族か友だちの前で声に出して読んでみよう。
2. 聞いた人の感想を書こう。

ワンポイント 発表するときは、上の句と下の句の間に少し間をあけて読むと、伝わりやすくなります。

百人一首で遊びながら、自分の短歌づくりに挑戦しましょう。

写真や実物を見てみよう

見て、ふれて、短歌をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

歌集・百人一首の本

百人一首かるた

歌人の記念館の展示

短歌が書かれた色紙や短冊

実物を見ると、文字だけではわからない筆づかいや味わいに気づけます。

ポイント

- 百人一首かるたには、歌人の絵が描かれているものもあります。
- 家にある古い歌集も、立派な資料です。

やってみよう

1. 家や学校にある、短歌に関するものを1つさがしてみよう。
2. 印象に残った短歌を1つ書こう。

ワンポイント 図書館には、百人一首や有名な短歌をまとめた本がたくさんあります。さがしてみましょう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に作ってみると、短歌はもっと楽しくなります。

やってみよう

短歌づくり

百人一首かるた

短歌の書写

気持ちを三十一音で表す

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本で読んだだけではわからない発見があります。
- うまく作れなくても大丈夫。まずは楽しむことが大切です。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際にやってみよう。
2. やってみて気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

短歌にも、時代や作る人によるちがいがあります。

共通すること

多くの短歌に見られる特徴

五・七・五・七・七の三十一音

短歌の基本の形

気持ちや情景を表す

作者の思いをこめる

ちがうこと

時代や地域によるちがい

使うことば

昔の言葉と、今の話し言葉のちがい

よまれる題材

自然が中心の時代と、暮らしが中心の今

ポイント

- 同じ短歌でも、作られた時代によって、使われることばや題材がちがいます。
- 「短歌は必ずこう作る」と決めつけず、さまざまな作り方があることを知っておきましょう。

やってみよう

1. 今のあなたの暮らしの中から、短歌にできそうな出来事を1つ書こう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

短歌との付き合い方は、時代とともに変わってきました。

普

以前の楽しみ方

紙と筆で書く

色紙や短冊に書き残した

宮中や歌会で発表する

身分の高い人たちの楽しみでもあった

今

今の楽しみ方

ノートやパソコンで書く

手軽に書きとめられる

インターネットで発表する

だれでも発表しやすくなった

ポイント

- 書く道具や発表の方法は変わっても、気持ちを言葉にする楽しさは変わっていません。

やってみよう

1. 家族に、短歌や百人一首にふれた経験があるか聞いてみよう。

書いて覚えよう

よくある疑問

短歌について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. 短歌には季語が必ず必要ですか？

A. 俳句とちがい、短歌には季語を入れる決まりはありません。季節を感じることを入れることもあります。

Q. 短歌と俳句、どちらが古いのですか？

A. 短歌を含む和歌のほうが、俳句より古くから作られてきたといわれています。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本などで確かめてみましょう。

やってみよう

1. 短歌について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

短歌を読んだり作ったりするとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 人の短歌を読むときは、作者の思いを想像しながら大切に読みましょう。
- 百人一首で遊ぶときは、札を強くたたきすぎないよう気をつけましょう。
- 有名な短歌を写すときは、作者の名前も一緒に書きましょう。

ワンポイント 自分の短歌を発表するときは、はずかしがらずに、まずは声に出してみましょう。

やってみよう

1. 短歌を読んだり作ったりするときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

短歌の決まりごと

☐ 三十一音

五・七・五・七・七の音の数

☐ 上の句

短歌の前半、五・七・五の部分

☐ 下の句

短歌の後半、七・七の部分

短歌にまつわる本・遊び

☐ 万葉集

現存する日本最古の歌集

☐ 百人一首

百人の歌人の短歌を選んだもの

☐ 百人一首かるた

上の句を聞いて下の句を取る遊び

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、短歌がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

● 才. 短歌の後半、七・七の部分

2. 短歌には季語を入れる決まりがある → (正しい / まちがい)

24

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだ短歌を、自分のことばで伝えてみよう。

紹介したい短歌

作者や歌集

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Ken の例

紹介したい短歌 百人一首の中の一首／作者や歌集 百人一首／自分が感じたこと 昔の人の気持ちが
今も伝わってくる／聞いてみたいこと 好きな短歌はあるか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

短歌を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

短歌

tanka

五・七・五・七・七の三十一音で表す、日本の詩

百人一首

a collection of one hundred poems

百人の歌人の短歌を選んで集めたもの

Emma

短歌を英語で紹介するとき、どう説明する？



Ken

音の数より、気持ちや情景が伝わることを大切にしているよ。

ポイント

- すべてを直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

1. 紹介したい短歌を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

短歌の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

歌集や百人一首の本を借りる

かるたで

百人一首で遊びながら覚える

家族に

知っている短歌や和歌を聞く

次に学びたいテーマ

季語

季節を表すことばをくわしく

有名な歌人

作品や生き方をもっと知る

俳句

短歌との共通点をもう一度学ぶ

ポイント

- この教材の次は「季語」。季節を表すことばの世界を、さらにくわしく学んでいきます。

書いて覚えよう

短歌チャレンジ

教室の外でも、短歌はすぐに作れます。

見つけよう

身のまわりから**心が動いたこと**を1つ見つける

作ろう

五・七・五・七・七で**自分の短歌**を1つ
作る

伝えよう

作った短歌を**友だちや家族に発表する**

こたえ

L28 三十一音→エ 上の句→ウ 下の句→オ 万葉集→イ 百人一首→ア 2. 正しい / まちがい

L33 (例) 短歌とは、五・七・五・七・七の三十一音で気持ちや情景を表す、日本の詩のこと。

書いて覚えよう

短歌 (Season 9 | No.84)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。